

2017年12月10日 発行

# サポセン和歌山

更生保護サポートセンター和歌山：〒640-8157 和歌山市8番丁4・八番丁館3

発行責任者：  
和歌山保護司会会長  
編集：企画調整保護司

TEL：073-460-9298  
FAX：073-425-1301

E-mail：saposen\_w@ares.eonet.ne.jp



## 平成29年度 (平成29年10月26日(木)・ホテル グランヴィア和歌山6階) 県更生保護功労者顕彰式典盛大に開催される



▲叙勲並びに法務大臣受章者の皆さま 来賓の方々との記念写真

栄えある受彰者の皆さま おめでとうございます

### 【和歌山保護司会】

#### 【瑞宝双光章】

北野 愛子 (和歌山北) 平成29年春

#### 【藍綬褒章】

北口 勲 (和歌山南) 平成29年春

#### 法務大臣表彰

新島 雄 保護司 和歌山北  
北條 法聖 保護司 和歌山北

#### 法務大臣感謝状

金田 郁子 (BBS・北支部)

#### 全国保護司連盟理事長表彰

上野 俊憲 保護司 和歌山東  
硯 昌宏 保護司 和歌山南  
西村 征男 (内助功労) 和歌山西

#### 全国更生保護法人連盟理事長表彰

西平 都紀子 (県協会・協力雇用主)

#### 近畿地方更生保護委員会 委員長表彰

江川 友章 保護司 和歌山東  
林 多恵子 保護司 和歌山東  
宇治田 清治 保護司 和歌山西  
中村 民義 保護司 和歌山西  
船所 宏行 保護司 和歌山西  
松尾 幸一 保護司 和歌山西  
青山 真弥 保護司 和歌山南  
杉谷 睦生 保護司 和歌山南  
田村 亘繪 保護司 和歌山南  
岡崎 広治 保護司 和歌山北  
土橋 廣藏 保護司 和歌山北  
山本 久 保護司 和歌山北

#### 近畿地方保護司連盟会長表彰

中村 四郎 保護司 和歌山東  
山田 博美 保護司 和歌山東

和歌山県更生保護功労者顕彰式が10月26日にホテルグランヴィア和歌山で厳粛に開催されました。

本年は県更女連盟結成60周年記念大会を独自に開催するため、県更生保護女性連盟からの参加は、役員等限られた方だけであったため、参加者総数は210名でした。

また今年も式典に先立ち、第67回“社会を明るくする運動”作文コンテストにおいて小学校の部及び中学校の部の最優秀作に輝いた2作品の朗読がおこなわれました。

壇上に立ったのは、新宮市立三輪崎小学校2年生・谷瀬 剛さんと、岩出市立岩出第二中学校2年生・竹下 知歩さんの二人。その内容は勿論のこと、可愛くて元気、かつ落ち着いた説得力のある発表ぶりに、会場は大きな「感銘の拍手」に包まれました。



谷瀬 剛さん (小学2年生)

「がんばれおばあちゃん みんながしあわせになるために」

竹下 知歩さん (中学2年生)

「祖母と桜の木が教えてくれた事」



小林 勝司 保護司 和歌山西

#### 近畿地方保護司連盟会長表彰 (内助功労)

玉井 美代子 (和歌山東)  
樫畑 順子 (和歌山南)



【上】表彰者代表の謝辞を述べる保護司



【上】その場で起立し表彰を受ける保護司の皆さま



【左】全国更生保護法人連盟理事長表彰を受ける西平都紀子氏

### 和歌山県知事感謝状

中谷 武也	保護司	和歌山東
上川 二三雄	保護司	和歌山南
西本 雉紗子	保護司	和歌山北
温品 圭司	保護司	和歌山北

### 和歌山保護観察所長表彰

岩坪 華容子	保護司	和歌山東
沼井 健次	保護司	和歌山東
山崎 秀樹	保護司	和歌山東
河野 了	保護司	和歌山西
南出 博之	保護司	和歌山西
尾崎 方哉	保護司	和歌山南
川端 久晴	保護司	和歌山南
渋谷 静加	保護司	和歌山南
集田 眞樹	保護司	和歌山南
辻本 朝治	保護司	和歌山南
福島 友美子	保護司	和歌山南
宮本 庄悟	保護司	和歌山南
堂坂 清	保護司	和歌山北

### 和歌山県保護司会連合会 会長表彰

北井 勝也	保護司	和歌山東
楠 太樹	保護司	和歌山東
白木 秀子	保護司	和歌山東
高倉 理行	保護司	和歌山東
田原 久一	保護司	和歌山東
玉井 康民	保護司	和歌山東
中居 純三	保護司	和歌山東
西中 康浩	保護司	和歌山東
山本 清美	保護司	和歌山東
山本 隆士	保護司	和歌山西
佐野 浩美	保護司	和歌山南
北本 一紀	保護司	和歌山北
栗本 博善	保護司	和歌山北
下岡 一夫	保護司	和歌山北



▲代表で大矢近畿更生保護委員長より「法務大臣表彰」を受ける新島保護司



▲来賓祝辞を述べる大矢近畿更生保護委員長

## 和歌山県更生保護女性連盟 結成 60 周年記念大会 晴やかに!

平成 29 年 11 月 15 日（水）ホテルグランヴィア和歌山に於いて和歌山県更生保護女性連盟結成 60 周年記念大会が盛大に開催された。

県内各地域に於いて非行や犯罪に陥った人たちの改善更生を助けるとともに、非行や犯罪のない明るい地域づくりに寄与する更生保護女性会員が一堂に会した。また功労者の顕彰を行うことにより、会員相互の意識の統一と士気の高揚が図られた。参加者は来賓を含め 400 余名であった。

オープニングは高野口更女の美しいコーラスで。続いて来賓として迎えた日本更生保護女性連盟会長の千葉 景子氏の「弘法大師に見守られ“地域を編む”更女の力」と題した記念講演が行われ大きな共感を呼んだ。

最後に出席者全員で『誓いのことば』を採択し、新たな決意をもって、明るく住みよい社会の実現に向け、邁進する決意を固め閉幕された。



千葉会長より「日更女会長表彰」を県連盟を代表して受けとる石谷県更女会長



来賓としてあいさつを述べる仁坂県知事

【東支部】

管外研修に行ってきました。

泊付き研修 15 回目の今年は高松刑務所です。気候の良い 10 月 12 日の朝、和歌山を出発。道中のバスの中は DVD 研修で、刑務所まで有意義な時間を過ごしながら目的の高松刑務所に到着しました。

今年金沢から転勤してこられた正司所長より、親近感溢れる「所内説明」があり、その後、所内見学をさせていただいた。刑期の長い人が入所しているの、彫刻製品など技術の必要な製品を作ったり、また、最高齢者が 84 歳と言うだけあって、高齢者用の作業や体操を取り入れたり、これまで見学してきた刑務所とは違った刑務所でした。

見学後は質疑応答で盛り上がり、帰りには作品購入の協力もさせていただきました。

翌日は『東洋のマチュピチュ』と呼ばれている別子銅山や住友の別子銅山記念館を見学して一泊二日の実り多い研修を終え帰宅しました。(乙井・記)

【北支部】

大阪医療刑務所見学

和歌山保護司会北支部では、11 月 24 日(金)から 25 日(土)にかけて、会員 21 名で県外施設見学を実施しました。場所は大阪医療刑務所です。

最初に八木庶務課長さんから施設の沿革・特色・規模・組織と医療刑務所の役割等についてプロジェクターを使って説明がありました。受刑者数は 267 名(患者 186 名・一般受刑者 81 名)。年齢は 60 歳以上の人は 35.6%と高齢率が高いことや終末医療の受刑者が大半で、病名は癌とのことでした。また、矯正施設に勤務する医師不足など矯正施設の現状などよくわかりました。

会員からは、退院後の事や死亡する方等の質問があり、医療刑務所の役割を理解することができました。その後刑務所内の見学をさせていただき、内視鏡検査室や CT 設備はありますが、最新式でない検査機器もあり、今後の課題のあることもわかりました。

見学の後は有馬温泉まで足を伸ばし一泊。会員相互の親睦を図るため懇親会を開催し有意義な一時を過ごしました。

2 日目は、有馬温泉から六甲有馬ロープウエーで六甲ガーデンテラスまで行き、眺望と散策を楽しみ晩秋の紅葉に心洗われました。その後、昼食・買い物をして全員無事に帰途につきました。(前原・記)

定例研修のお知らせ

【南支部】 第 3 期定例研修と懇親会

とき：平成 29 年 12 月 19 日(火)15:00~17:00

ところ：紀三井寺はやし・会費 5000 円

【北支部】 第 4 期定例研修

とき：平成 30 年 2 月 13 日(火)13:30~

ところ：河北コミセン ワークルーム

和歌山保護司会

各専門部会総会と新年会のお知らせ

◆日時：平成 30 年 1 月 18 日(月)

◆場所：県民文化会館&アバローム紀の国

●開催時間：各専門部会総会・16:00~

新年会・17:20~19:20

●会費：5,000 円

サポートセンター和歌山

年末・年始の開設予定

◇年内の開設は：平成 29 年 12 月 26 日午前中

◇新年の開設は：1 月 6 日より通常どおり

※休館中にご用の方は：奥田 (090-8655-6930) 迄



人権フェスタ映画会報告

今年も、更生保護 5 団体は、11 月 11 日(土)ビッグホールでの「ふれあい人権フェスタ」で映画会を開催しました。来場された小学生から年輩の方まで約 150 名が熱心に鑑賞。上映したのは、少年コミック誌に連載され話題を呼んだ『聲の形』を映画化された作品。学校での“いじめ”や“障がい者との共生”と言う難しいテーマを自然に考えることができる優れた作品だった。小西会長の更生保護の話とあわせて、心に残る一日でした。(野々村 総務部会長・紀)

平成29年度 和歌山保護司会4支部合同「体験発表研修会」

# お二人の体験談に多くの参加者が聴き入る

体験発表①：東支部 西川 奈緒美さん 体験発表②：西支部 島 由佳子さん

平成29年11月13日（月）・ ビッグ愛201号室 ・ 司会進行：武内 優子 研修部会長



▲ 左：西川奈美子さん、右：島 由佳子さん。笑顔もあり、落ち着いて堂々と発表するお二人。

爽やかな紅葉の季節、11月13日にビッグ愛に於いて今年で5回目となる和歌山保護司会4支部合同体験発表研修会が開催されました。

平日にも関わらず100名近い参加者（出席率約50%）の下、和やかにまた、熱のこもった二人の発表を聴くことができました。

①まず初めに、東支部の西川さんより「少年の生きづらさと共に」と題する体験発表が。配布資料には体系的に三者を比較したレジメがありました。三者三様のケースではありますが、共通して地道に取り組んできたのが“親御さんとの距離感を縮めて行くこと”。

その実行力と洞察力。そして親子が胸襟を開き、お互いの思いを相互に理解するように指導し、更生へ

の道を切り開いていった体験に多くの方が聴き入っていました。

②続いて二人目、西支部の島さんより「優秀な対象者！？」と題した発表がありました。テーマの「優秀な対象者！？」とは如何なる人物との思いからアレコレ想像して聴き入ったのは私一人ではなかったと思います。

27歳の対象者の更生の過程で養父との兼ね合いに苦慮したこと。就労先の社長と保護司としてのやり取りについては、私自身非常に参考となりました。更には観察時の大変さを熱血パワーで押し進められた状況等が非常によく伝わってきました。

助言者として参加頂いた三宅・統括保護観察官も、お二人の事例について過去の書類等で十分に把握され

ており、的確なアドバイスを頂きました。また、質問の有った観察終了後の前対象者との関わりの方については、「第三者を含めて保護司には秘守義務がある。その点を十分に認識した上で注意を怠らない旨」の話がありました。（編集委員・角田）



▲小西会長と助言する三宅統括保護観察

・有意義で中味の濃い合同研修でした。時間も長すぎず、短すぎず、丁度良かった。研修部の皆様ありがとうございます。

## 【アンケート調査より】

- ・「三人の対象者に関わって」の事例については、親子関係に着目して親を変えることにより、親子のコミュニケーションづくりと、子供が自分が大切にされているという自己有用性を植え付けたのが良かった。また、「薬物依存者」の事例については大変難しい案件と思いましたが、本人の意思と周りの環境が良くとても良い結果となった。また、養子縁組に関しては良い勉強となりました。
- ・今回の体験発表は、内容的に保護司であれば誰もがいつかは体験すると思います。また、ご苦労も十分に伺われました。研修会の有り方としては大変良かった。
- ・二人の先生ありがとうございました。対象者との関わり方を学びました。ご本人の温かい人柄が伝わり大変良かったと思います。

